

国公立大 共通テスト英語 リーディング・リスニング配点比率

全大学の3割強が予告。リスニングの配点比率 高まる！
セ試英語での比率「4:1」と同じとする大学と、
「1:1」に変更する大学が、いずれも3割超で拮抗！

旺文社 教育情報センター 2020年2月3日

実施まで1年を切った、2021年大学入学共通テスト。センター試験では「筆記」と「リスニング」で出題されていた英語が、共通テストでは「リーディング」と「リスニング」の出題となり、配点も変更となる。本稿では、大学入試センター発表資料を基に「共通テスト英語」の問題作成方針や出題方法を改めてまとめるとともに、旺文社調査による2021年国公立大一般選抜における共通テスト英語の「リーディング・リスニング」の配点比率を掲載した。

■共通テスト英語 問題作成方針、出題方法のポイント

- ◎リーディングとリスニングの配点は均等（各100点）。
 - ◎各技能の点数の入試での比重（重み付け）は、各大学が決定。
 - ◎外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションで、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるかを「読む」「聞く」で評価。
 - ◎実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視。
 - ◎発音、アクセント、語句整序などの単独問題は出題しない。問題レベルは、CEFR A1～B1。
 - ◎リーディング・リスニングともに、概要や要点を把握する力、情報を読み取る力等を問う。
 - ◎リスニングの内容は、生徒の身近な暮らしや社会での暮らし関わること。
 - ◎リスニングの音声は、多様な話者による現代の標準的な英語を使用（試行調査ではアメリカ英語、イギリス英語、日本語母語話者による英語が出題）。
 - ◎音声読み上げは1回読みと2回読みを出題（全て1回読みにする可能性も今後検証）。
- ※リスニングの設問数（解答する数）はセンター試験25問、共テ第2回試行調査では37問（うち配点された数は30）と増加。
※音声読み上げはセンター試験は全て2回読み。共テ第2回試行調査では難易度の高いCEFR B1程度の問題が1回読み。

■センター試験と共通テストの【英語】の対照（赤字・下線が変更箇所）

センター試験 英語	試験時間	配点
筆記	80分	200点
リスニング	60分(注)	50点
リスニング音声	全て2回読み	

(注)うち解答時間は30分

共通テスト 英語	試験時間	配点
リーディング	80分	100点
リスニング	60分(注)	100点
リスニング音声	1回読みと2回読み	

(注)うち解答時間は30分

※ここまで、共通テスト英語に関する問題作成方針、出題方法などについては、「令和3年度 大学入学共通テスト問題作成方針」「令和3年度 大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等」(2020/1/29)ならびに、「大学入学共通テストの導入に向けた試行調査の結果報告」(2019/4/4)など大学入試センター発表資料を基とした2021年共通テストに関するもの。2022年共通テストに関しては、2020年6月ごろに、大学入試センターから改めて公表される予定。

■リーディング、リスニングの配点比率

リスニングの配点比率 高まる。センター試験で大多数だった「4:1」が、共通テストでは多様に！

センター試験の英語の配点は筆記 200 点、リスニング 50 点。「筆記：リスニング」の配点比率は「4：1」。実際の入試では、他の外国語の配点（200 点）とあわせるため、筆記＋リスニング 250 点を 200 点に換算し、具体的には筆記 160 点、リスニング 40 点とする大学がほとんどだった（学部・学科により、さらに 100 点満点に換算したりするが、当然ながら、配点比率は変わらず「4：1」となる）。

一方、共通テストの英語の配点は、リーディング（R）100 点、リスニング（L）100 点だ。「R：L」の配点比率は「1：1」。実際の入試での各技能への重み付けは、各大学が判断する。

2021 年入試の国公立大学の「予告」を弊社にて調査したところ、「R:L」の配点比率を、明確に記している大学は 56 大学。一部の学部で明記されているのは 2 大学 2 学部。全国公立 173 大学の 3 割強となった。

これまで通り、R=160 点・L=40 点（配点比率「4：1」）とする大学の一方で、共通テストの配点比率の通りに、R=100 点・L=100 点（配点比率「1：1」）としたり、R=150 点・L=50 点（配点比率「3：1」）としたりする大学も当然あり、多様な状況となっている。

調査結果を集計すると「4：1」34.8%、「1：1」30.4%、「3：1」14.5%の順。「3：1」は、東北大学、東京医科歯科大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学など難関大学が目立つ。

センター試験では全学で配点比率「4：1」だった大学が、共通テストでは学部・学科や、前期・後期の別で配点比率を変えたり、その逆に、センター試験では学部・学科で異なっていた配点比率を、共通テストでは統一したりというケースも見られる。なお、これまでよりリスニングの配点比率が下がる大学は、現状では極めてレアケースだ（例：東京都立大学 都市環境学部－都市政策科学科）。リスニングの配点比率が上がる大学が少なくないため、リスニング対策の重要度は、これまでとは異なるものになるろう。

共通テスト英語「R:L」の配点比率は、2021 年入試情報の注目ポイントのひとつだ。

次ページより配点比率を一覧で掲載した。



2021 年入試改革に際しては、さまざまな変更が相次いだことで、受験生には不安や不満が募り、進路指導の先生方には情報収集に多大な苦労があったと思われる。当然、大学においても各種の変更事項により、「予告」が断続的にならざるを得ないという事情もある。

とはいえ、2021 年共通テストまで、既に 1 年を切っている。受験生が安心して勉強に専念することができるように、各大学からの、わかりやすい「予告」の公表を期待したい。

(2020.2 加納)

■2021年 国公立大一般選抜 共通テスト英語 リーディング・リスニングの配点比率

(旺文社 教育情報センター調べ/2020年1月31日現在判明分)

大学(学部-学科)	リーディング	リスニング	公表日
国立大学			
小樽商科大学	1	1	1月28日
帯広畜産大学	3	2	1月20日
北海道大学	1	1	11月25日
弘前大学	1	1	12月19日
東北大学	3	1	12月24日
福島大学	4	1	11月27日
茨城大学	4	1	11月29日
筑波大学	4	1	11月29日
筑波技術大学(産業技術)	1	0(利用しない)	12月20日
宇都宮大学	3	1	11月29日
群馬大学	4	1	12月13日
千葉大学	4	1	12月26日
東京医科歯科大学	3	1	1月9日
東京農工大学	13	7	12月17日
新潟大学	4	1	12月23日
信州大学	4	1	12月24日
岐阜大学	3	1	1月30日
豊橋技術科学大学	1	1	11月29日
名古屋大学	3	1	1月16日
名古屋工業大学	1	1	1月22日
三重大学	2	1	12月18日
京都大学	3	1	1月22日
大阪大学	3	1	1月16日
神戸大学	4	1	12月23日
奈良教育大学	4	1	1月29日
奈良女子大学	4	1	12月17日
鳥取大学	4	1	11月29日
島根大学	4	1	12月18日
岡山大学	4	1	12月17日
広島大学	1	1	12月17日
山口大学	4	1	11月22日
鳴門教育大学	1	1	1月30日
福岡教育大学	1	1	1月22日
公立大学			
釧路公立大学	4	1	1月23日
札幌医科大学	1	1	12月10日
宮城大学	4	1	12月11日
秋田県立大学	1	1	11月22日
茨城県立医療大学	7	3	12月12日
群馬県立県民健康科学大学	4	1	1月30日
東京都立大学 (人文社会/法/経済経営/理/システムデザイン)	4	1	1月8日
東京都立大学 (都市環境-地理環境、環境応用化学)	4	1	1月8日
東京都立大学(都市環境-都市基盤環境)	1	1	1月8日
東京都立大学(都市環境-建築)	2	1	1月8日
東京都立大学(都市環境-観光科学)[前期]	3	2	1月8日
東京都立大学(都市環境-観光科学)[後期]	3	1	1月8日

大学(学部－学科)	リーディング	リスニング	公表日
東京都立大学 (都市環境－都市政策科学)[前期・文系区分][後期]	5	1	1月8日
東京都立大学 (都市環境－都市政策科学)[前期・理系区分]	6	1	1月8日
東京都立大学(健康福祉－看護、理学療法、放射線)	4	1	1月8日
東京都立大学(健康福祉－作業療法)	8	3	1月8日
長岡造形大学	1	1	11月27日
新潟県立看護大学	3	1	1月14日
公立小松大学	4	1	12月20日
長野大学	1	1	12月10日
岐阜薬科大学	3	2	12月13日
静岡文化芸術大学	1	1	12月11日
愛知県立芸術大学(音楽)	4	1	12月13日
名古屋市立大学	4	1	12月18日
三重県立看護大学	1	1	1月28日
京都府立大学(文／生命環境)	4	1	12月2日
京都府立大学(公共政策)	91	9	12月2日
福知山公立大学	1	1	12月2日
神戸市看護大学	4	1	12月23日
公立鳥取環境大学	1	1	12月11日
下関市立大学	7	3	12月12日
山口県立大学(国際文化－国際文化)	5	2	1月14日
山口県立大学(国際文化－文化創造)	4	1	1月14日
山口県立大学(社会福祉)	1	1	1月14日
山口県立大学(看護栄養－看護)	1	1	1月14日
山口県立大学(看護栄養－栄養)	3	1	1月14日
福岡県立大学	1	1	12月12日
大分県立看護科学大学	1	1	1月22日
名桜大学	1	1	8月28日

※共通テスト英語(200点満点)のリーディング(100点)とリスニング(100点)の国公立大学における、各技能への重み付け(=配点比率)を予告している大学の情報を一覧にした。

※各大学の予告において、共通テスト英語の配点として素点が公表されていてもリーディングとリスニングの配点比率が明記されていない場合、また、配点そのものが公表されていない場合は一覧には掲載していない。

※原則、大学入試英語成績提供システムの導入見送り(2019年11月1日)後に、大学ホームページにて公表された2021年入試予告を基に作成。

※本一覧の配点比率は一般選抜の比率(大学によって一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のいずれも同じ配点比率であると公表している場合もあるが、一般選抜としてのみ公表しているケースもある)。

※公表日は、各大学ホームページにおいて、共通テスト英語のリーディングとリスニングの配点比率が掲載されている最新情報が公表された日付(12月31日以前の日付は2019年、1月1日～1月31日は2020年)。

※本一覧のデータは、2020年1月31日現在判明分。

※東京都立大学=2020年4月、首都大学東京から校名変更予定。

※各大学の予告は変更の可能性はある。今後、各大学が発行する選抜要項等で必ず確認してほしい。